

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行
会 社 説 明 会

2019年11月22日(金)



株式
会社 鳥羽洋行

皆様へお伝えしたい事

- ◆積極的な株主還元
配当方針、株主優待制度
- ◆生産設備の専門商社
- ◆独自の営業体制
- ◆創業 1 1 0 年企業

積極的な株主還元（株価・配当情報）

11/18（月）の株価・配当金予想

11月18日終値 **2,954円**

今期の配当金予想 **120円**

予想配当利回り **4.06%**

積極的な株主還元（株主優待）

●株主優待は「クオ・カード」を採用しています



対象株主	単年度	継続保有 3 年以上
1,000株以上	3,000円	6,000円
100株以上1,000株未満	1,000円	2,000円

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

生産設備の専門商社



私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが
工場で作られています。

機械工具専門商社の分類

1. 販売形態による分類

- ①直販型 ②卸売型

2. 取扱い商品による分類

- ①組立 ②工作機械関連 ③電気部品・部材 ④その他

3. 販売地域による分類

- ①広域展開 ②地域限定

当社独自の営業体制

1. 販売体制

- ・ メーカー様より直接仕入、ユーザー様へ直接販売

2. 卓越した専門スキル

- ・ 各種 S E 資格の取得 ⇒ メーカー代行営業

3. 国内外に広がる販売ネットワーク

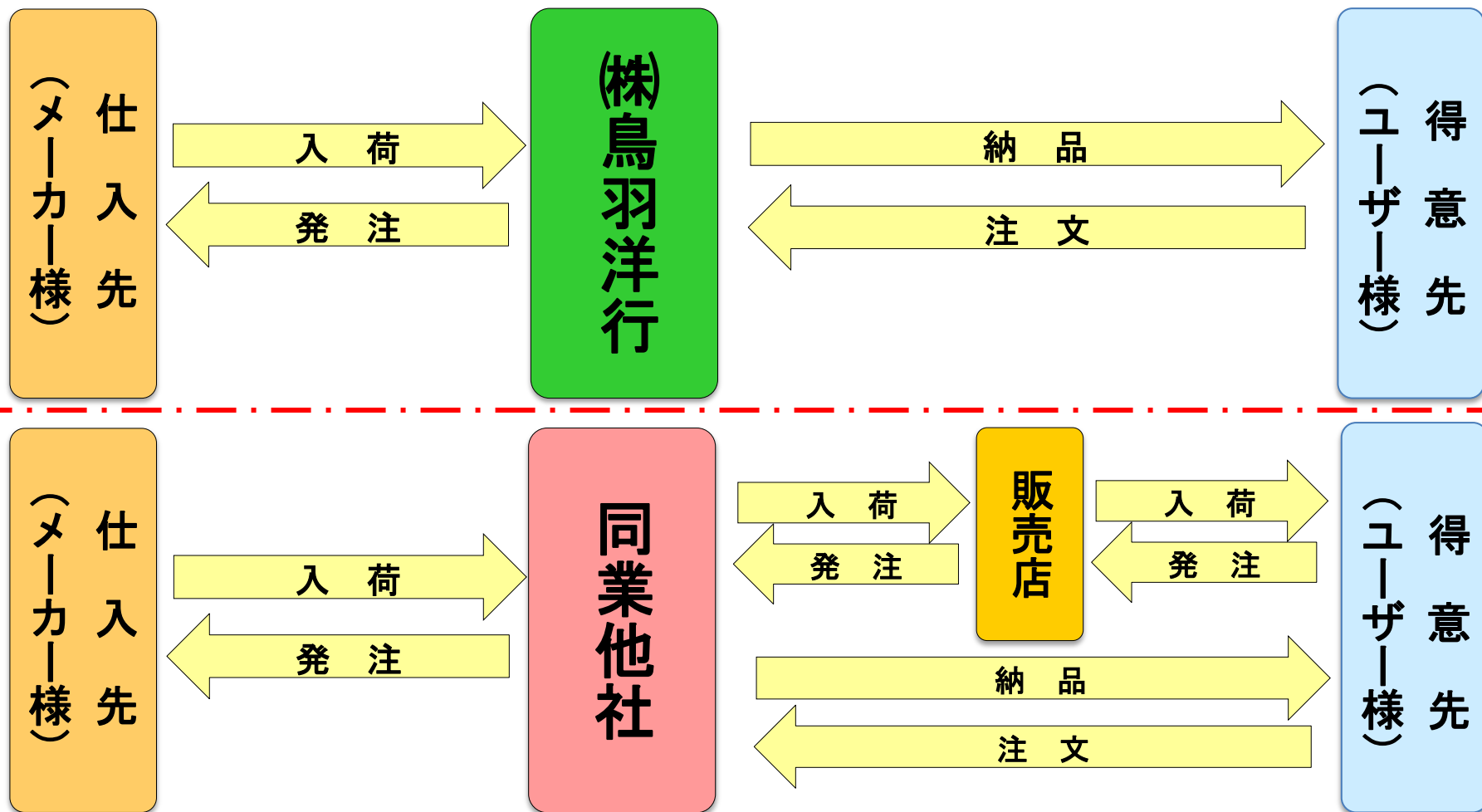
- ・ 国内22箇所、海外3カ国 5 拠点

4. 強固な顧客基盤

- ・ 幅広い業種の代表的な企業と取引

1. 販売体制 (ビジネススタイル)

- ・ ユーザー様は当社に依頼することで生産コストの低減と高品質化を実現
- ・ 『直接仕入』⇒ 仕入先から直接製品を購入
- ・ 『直接販売』⇒ 得意先様に直接訪問し販売



1. 販売体制（取扱い商品例）

制御機器



エアシリンダー



バルブ



センサー

F A 機器



産業用ロボット



マウンター（実装機）



レーザー溶接機

産業機器



電動ドライバー



ベルトコンベア



電気チェーンブロック

3. 国内外に広がる販売ネットワーク

海外3カ国5拠点

(同公司) 蘇州分公司

鳥羽(上海)貿易有限公司

中国

TOBA, INC. (ベトナム・ハノイ)

(同公司) 深圳分公司

ラオス

タイ

ベトナム

カンボジア

TOBA (THAILAND) CO., LTD.

国内22拠点



株式
会社

鳥羽洋行

会社概要

- 社 名：株式会社鳥羽洋行（TOBA,INC.）
- 本 社：東京都文京区水道二丁目8番6号
- 創 業：1906年（明治39年）
- 設 立：1949年（昭和24年）
- 資 本 金：11億4,800万円
- 従業員数：【連結】250人・【単体】222人
- 販売拠点：国内22拠点・海外3カ国5拠点
- 上場市場：東京証券取引所JASDAQスタンダード
- 証券コード：7472

※従業員数は、2019年9月30日現在です。



株式
会社

鳥羽洋行

沿革



創業者である鳥羽真作は、中国（大連市）にて、南満州鉄道を主たる取引先として創業

昭和40年代以降は、省力化・自動化機器（FA機器）を中心に販売展開
"FA プランナー TOBA"



昭和30年～40年代
空気圧機器中心に販売展開
"空圧のTOBA"



1906年9月 創業
中国（大連市）



（旧銀座本社及び二代目社長：鳥羽実）

1949年12月 設立
中央区（銀座）

1995年11月
JASDAQに上場

1998年9月
文京区に本社移転

2006年8月
本社 新社屋完成

2008年12月
鳥羽(上海) 貿易有限公司設立

2012年5月
TOBA (THAILAND) CO.,LTD.設立

2014年7月
TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所設立

創業より110年以上、国内外のモノづくりに貢献してまいりました。



（現在の鳥羽洋行本社）



株式
会社

鳥羽洋行

企業理念

信用第一主義

社 是

- 1 当社は社会人類に貢献するためにある
- 2 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
- 3 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する
- 4 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
- 5 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく

2020年3月期中間決算①

< 2020年3月期第2四半期 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	
	中 間	中 間	
	実 績	実 績	前年同期比
売 上 高	14,370	12,169	△15.3
営 業 利 益	969	614	△36.6
経 常 利 益	1,028	677	△34.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	709	462	△34.8

2020年3月期中間決算業績②

<2020年3月期第2四半期 連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	19/3月末	構成比 (%)	19/9月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	22,163	81.3	19,098	77.1	
現金・預金	10,712	39.3	10,333	41.7	
受取手形・売掛金 ※1	11,309	41.5	8,497	34.3	売上高減による売上債権減少
商品	97	0.4	197	0.8	
固定資産	5,113	18.7	5,658	22.9	
資産合計	27,277	100.0	24,756	100.0	
流動負債	9,898	36.3	7,393	29.9	
支払手形・買掛金 ※2	9,057	33.2	6,827	27.6	仕入高減による仕入債務減少
固定負債	314	1.2	339	1.4	
負債合計	10,213	37.4	7,733	31.2	
純資産合計	17,064	62.6	17,023	68.8	
負債純資産合計	27,277	100.0	24,756	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む



株式
会社

鳥羽洋行

当社をとりまく市場環境

<2020年3月期下期の市場環境①>

◆国内の市場環境

<現況>

- ▶ 米中貿易摩擦や、欧州経済の減速など世界経済は減速傾向が続いており、輸出企業の業績が悪化。国内企業の多くも業績の悪化が続いており、設備投資に消極的な傾向が継続

<各カテゴリーの今後の見通し>

- ▶ 自動車・車載部品分野については、次世代技術であるC A S Eの導入が進んでおり、事業再編等が加速。E VやH Vなどの開発が継続し、電子部品や電池関連の得意先の設備投資は底堅く推移していくものと予想
- ▶ 半導体及び半導体・液晶製造装置に関連する得意先の設備投資は、半導体の在庫調整局面が下期後半頃に終焉し、下期前半は踊り場状態が続くものの、CMOS等の増産の報道もあり後半には回復に転ずると予想
- ▶ スマートフォンに関連する得意先は、2020年より本格導入される次世代通信システム「5 G」の開発等に伴い、設備投資は増加していくものと予想

当社をとりまく市場環境

<2020年3月期下期の市場環境②>

◆海外の市場環境

<現況>

- ▶ 米中貿易摩擦や英国のE U離脱問題、中東情勢など不安材料が多々あり、世界経済全体の減速傾向が続いている

<今後の見通し>

- ▶ 米中貿易摩擦の長期化が最大の懸念材料であるが、中国国内の内需は底堅く推移しており、内需型企業の設備投資需要は堅調に推移するものと予想。しかし、輸出型企業の業績悪化は顕在化しており、生産拠点を他国へ移転する動きなど注視していく
- ▶ スマートフォンの中国国内の需要は旺盛を維持しており、5 G向け等を含め設備投資は増加していくものと予想
- ▶ 中国国内の自動車産業は販売台数の減少は見られるものの、依然として底堅く推移している。電気自動車や次世代技術導入も進んでいるため、それらに関連する電子部品や電池関連の得意先の設備投資が引き続き拡大していくものと予想

今期の戦略について

<2020年3月期の戦略①>

◆既存得意先への拡販と新規得意先の開拓

- ▶ 当社**主要得意先**である半導体・液晶、電機、電子部品関連及び自動車・車載部品等への設備投資需要の取り込み
- ▶ 次の核となる**新規得意先**の開拓活動の強化
- ▶ 三品産業など**人手不足**を課題としている得意先への、ロボット、自動化・省力化機器の販売を積極的に展開
- ▶ **CBS25**（カービジネスシェア25%）
ADAS、AI、自動運転、EVなどCASE向け需要の取り込み
- ▶ 「**5G**」に関連する得意先の設備投資需要の取り込み
- ▶ 数年後の成長を見据えた**Eビジネス**の確立（出展商品の拡充など）

今期の戦略について

<2020年3月期の戦略②>

◆売上拡大施策

- ▶ 当社主催『**複合展示会**』の開催により、販売商品幅の拡大
 - ▶ **大型展示会**へ出展し新規優良顧客の獲得
 - ① **東京ビッグサイト**：『第2回 自動化・省人化ロボット展』（2019年7月24～26日）
 - ② **インテックス大阪**：『第22回 関西 機械要素技術展』（2019年10月2～4日）
- 各展示会のご来場者様へ拡販活動

◆新商材の発掘

- ▶ レーザー機器、ろ過機器（日本インテグリス）につづく新たな商材を発掘

◆海外拠点強化

- ▶ 海外子会社との連携強化（情報共有し当社販売網の活用）

今期の活動

＜本年度出展した展示会の模様＞

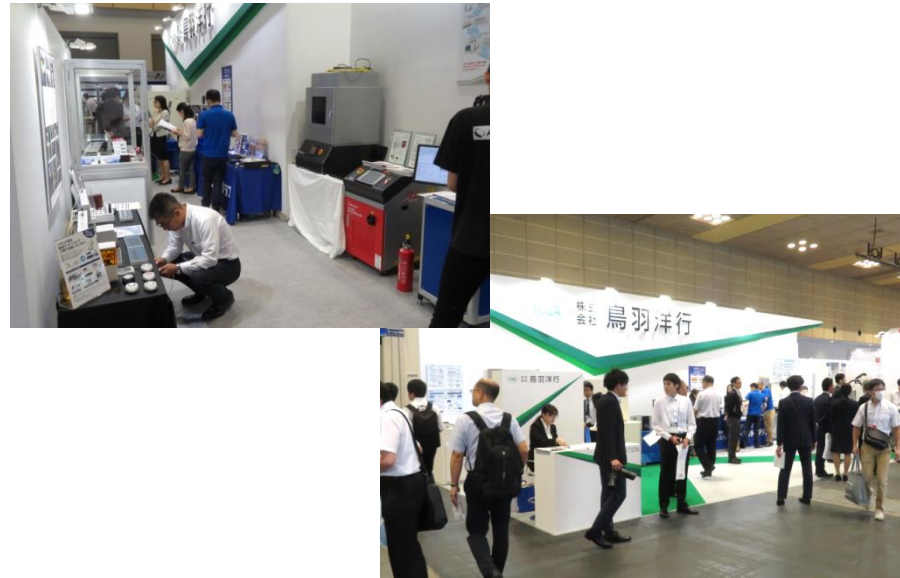
＜第2回自動化・省人化ロボット展 概要＞

- 日程：2019年7月24日～26日
- 会場：東京ビッグサイト



＜第22回 関西 機械要素技術展 概要＞

- 日程：2019年10月2日～4日
- 会場：インテックス大阪



各展示会では、協調型ロボットや自動化・省人化機器、生産工程の供給から排出までの一貫ラインをイメージした搬送系などを展示しました。結果、関東では昨年を上回り、関西でも多数のご来場をいただきました。

2020年3月期の業績予想（連結）

<2020年3月期の業績予想>

（単位：百万円）

	19/3月期 （実績）	20/3月期 （予想）	前期比 （増減率）
売上高	29,066	26,000	△10.5%
営業利益	1,895	1,400	△26.1%
営業利益率	6.5%	5.4%	△1.1 P
経常利益	2,004	1,500	△25.2%
経常利益率	6.9%	5.8%	△1.1 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,370	1,030	△24.8%
当期純利益率	4.7%	4.0%	△0.7 P

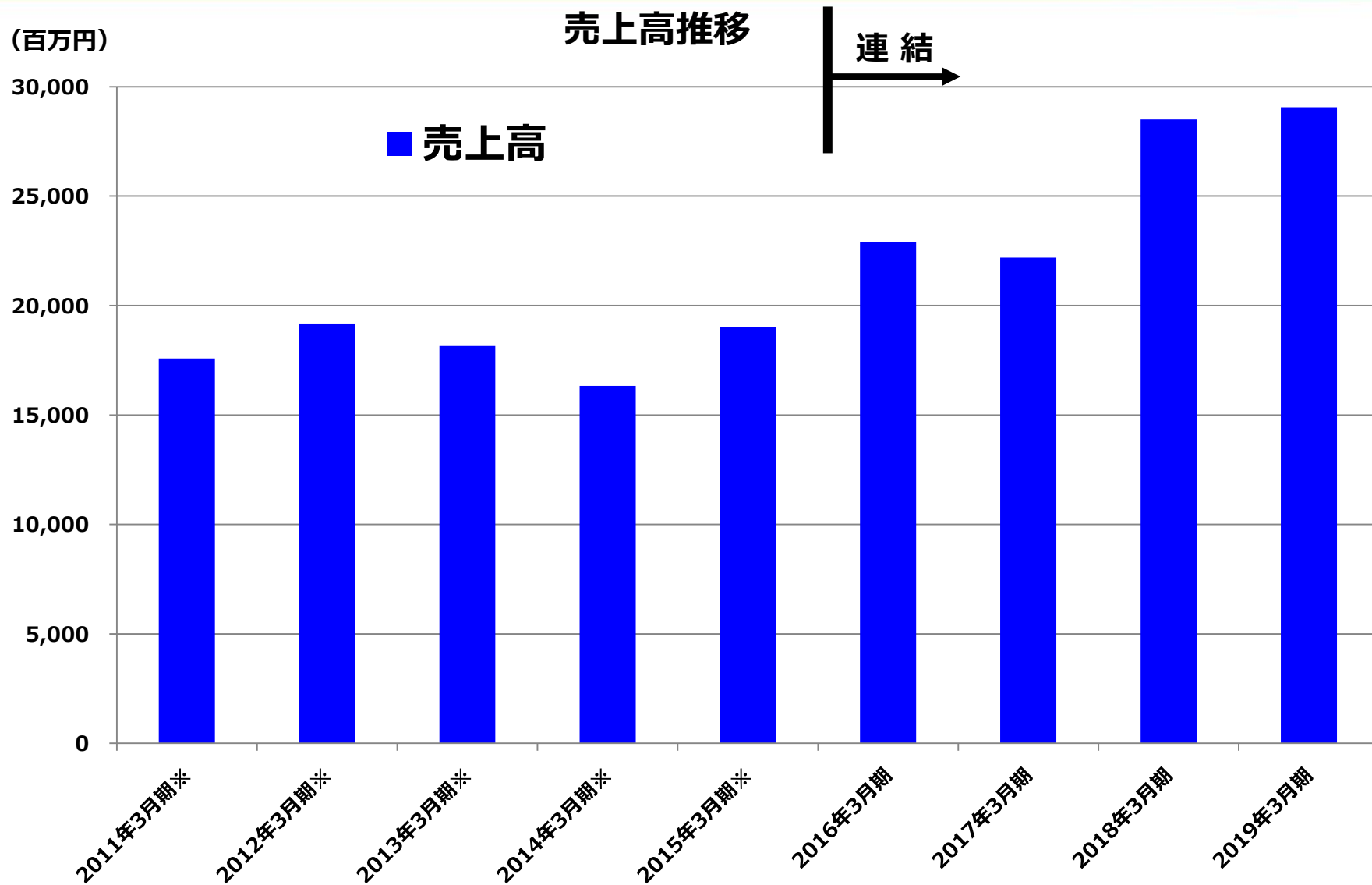
※2019年10月31日に業績予想の修正を実施しました



株式
会社

鳥羽洋行

売上高推移グラフ



※2016年3月期から連結財務諸表を作成しているため、2015年3月期以前は単体の数値です。

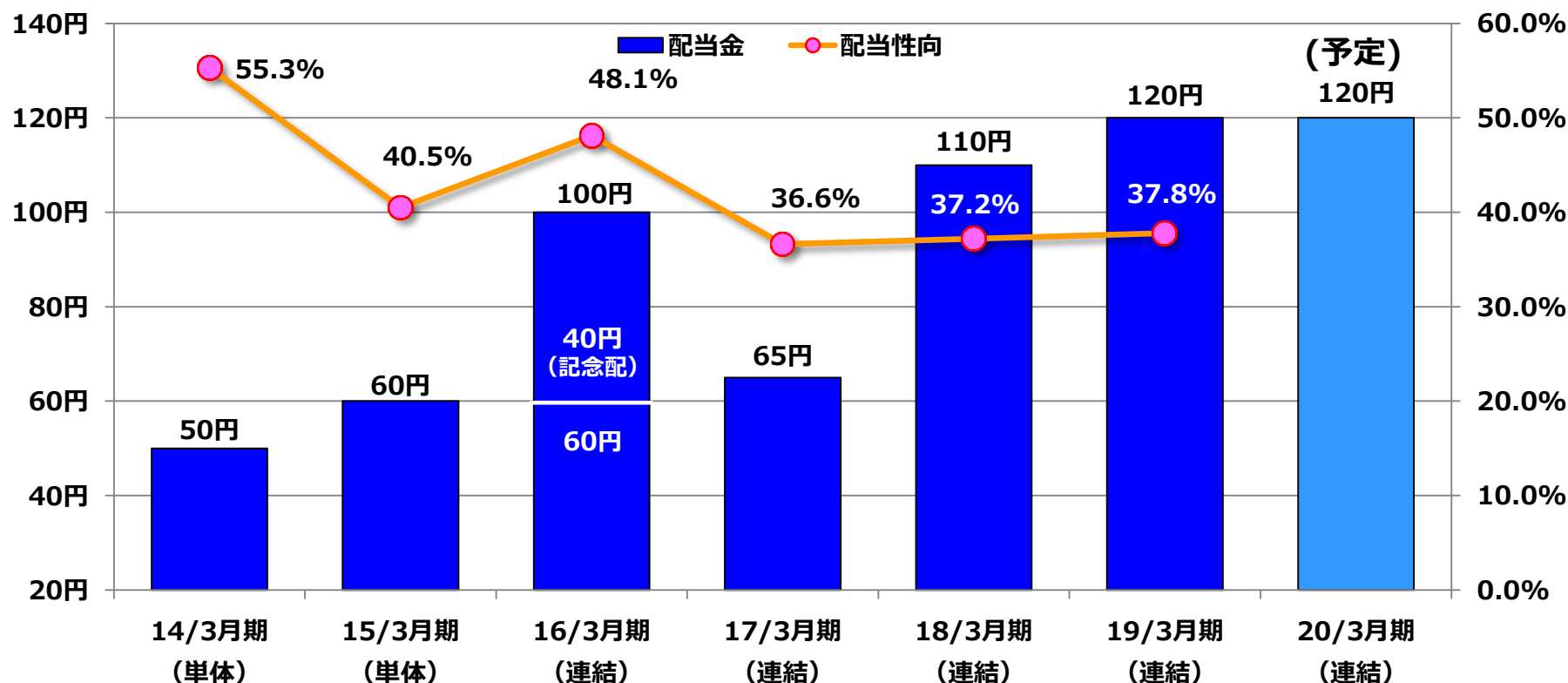


株式
会社

鳥羽洋行

株主様への還元

1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※16/3月期については、創業110周年記念の記念配当金40円が含まれております。

※配当性向については、16/3月期より連結での数字で計算しております。

■ 株主還元方針

- 1株当たりの配当金 **40円** を下限
- 連結配当性向は **35%** 以上

この資料には、2019年11月18日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではありません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道 2 丁目 8 番 6 号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp



株式
会社

鳥羽洋行